

■救急タブレットの活用事例

日時	令和2年5月24日	日曜日		種別	急病	搬送先病院	羽生総合病院
傷病者情報	年齢	性別	傷病名		程度		
	87	男	熱中症		軽症		
概要	歩行中転倒し、体動困難となり通行人からの救急要請。						
使用状況	傷病者は発語困難であり、氏名以外は判明せず。「とねっと」にて氏名を検索し、同姓同名の該当者を発見。緊急連絡先へ連絡したところ、傷病者の家族と繋がり状況説明。収容先の選定や、医師等への申し送りに役に立った。						
患者や家族の声・意見	入っていて、よかった(妻談)						

日時	令和2年7月7日	火曜日		種別	急病	搬送先病院	東埼玉総合病院
傷病者情報	年齢	性別	傷病名		程度		
	78	男	脳腫瘍		中等症		
概要	自宅便所にて排尿後、ふらつき起立困難となり救急要請したもの。						
使用状況	先着隊の消防隊から情報の申し送りを受けた後、傷病者へとねっとの加入状況について確認したところ「加入あり」との返答があったため、ふらつき・めまいを訴える傷病者に負担をかけず詳細を確認することができた。また、医師等への申し送りにも役立った。						

日時	令和2年7月16日	木曜日		種別	急病	搬送先病院	西山救急クリニック
傷病者情報	年齢	性別	傷病名		程度		
	21	女	めまい		軽症		
概要	自転車で走行中に回転性のめまいを発症し転倒。通りすがりの人が気づき救急要請されたもの。						
使用状況	傷病者はめまいを訴えており、家族情報等を聴取できなかったため、とねっとの氏名検索で該当を確認。情報聴取等で傷病者に負担をかけることなく家族等の連絡先を得ることができた。						

日時	令和2年7月17日	金曜日		種別	急病	搬送先病院	済生会栗橋病院
傷病者情報	年齢	性別	傷病名		程度		
	79	女	CPAOA		重症		
概要	店舗内で心肺停止状態（目撃有り、バイスタンダーCPR有り）						
使用状況	現場到着時、店舗内で女性が心肺停止状態で倒れていたが、身元等は判明していなかった。 たまたま現場に当組合管内病院に勤務する医師が居合わせ、傷病者の氏名及びとねっと加入者であることを把握していたため、救急隊がとねっとを活用し検索、早い段階で傷病者情報（医療情報、緊急連絡先等）を確認することができ、病院収容時や医師等への申し送りに役に立った。						